

第156号・1997年2月15日
公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子5丁目2番
編集責任者・木元 章喜
発行責任者・薄沢 勝

自治会連絡所(集会所No.1)

(電話) 3913-6723
〔開設時間〕月～金 10時～16時

王子五丁目団地

自治会会報

自治会
第21回定期
代議員総会
4月13日に

自治会の第21回定期代議員総会(4月13日)に開催します。詳細は追ってお知らせします。

居住者無視の公団住宅廃止ノ一!

私たちの住まい、公団住宅が廃止の危機に直面しつつあります。「住専」処理や厚生省スキャンダルなどのまどに十分な対応、状況が一方にあるなかで、政治や行政の改革が求められるのは当然です。昨秋の衆院総選挙では政府与党など奮然と「行革」の大合唱でしたが、今や公団住宅を「行革」の「いけいけ」にしようとしています。王子五丁目団地の自治会員、全ての居住者のみなさん、全国の200万人を超える公団住宅居住者と手を結び、自分たちの住まいを守るべくもたてたかまいしょう。

みんなの住まいは みんなで守ろう

「安心して住み続けられたい」との私たちの願いと運動は多くの成果を挙げました。しかし、住宅・都市整備公団や建設省など、さらに政府や政治の場での施策、対応は居住者・国民本位の公団住宅を「行革」のいけいけ頭です。居住者を無視しての

2・23王五住民集会

◇2月23日(日)午後1時30分
◇2号棟前白山けやき広場(全世帯からのご参加を)



「公団住宅民営化反対緊急集会」には250人参加。中央は情報報告する井上全国自治協事務局局長。2月7日神田パンセ



団地中にあふれる自転車の山、やま。

どうする「放置自転車」

各号棟1階に山積みになってくる自転車は、1991年7月からの「粗大ゴミ」有料化から、処理できないまま今日に至っています。

昨年おこなったアンケートでも、自転車問題は多くの方から、「危険だ何とかしてほしい」等の意見が多数ありました。自治会は、毎年の公団北営業所との交渉などで、自転車問題で懇談してきましたが、未だに解決に至っていません。南北線王子神谷駅前の自転車も、四谷まで延伸してから日に日に台数を増し、放置自転車も増えてきています。自治会は、駅前自転車問題とともに、不要自転車の撤去を今年の遅くない時期に実施しよう、自治会内にプロジェクトチームをつくり、実態調査、撤去の方法等の話し合いをおこなない、関係機関への働きかけも進んでいます。

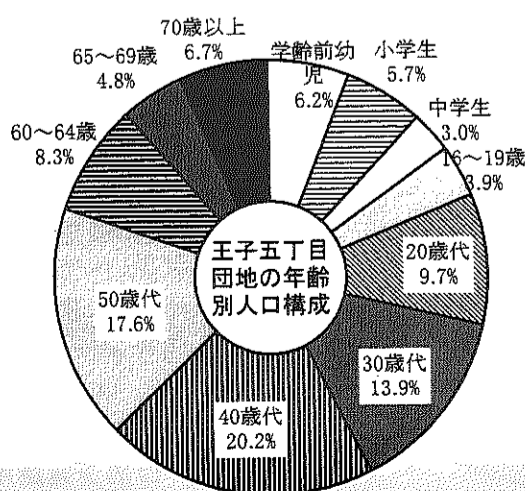
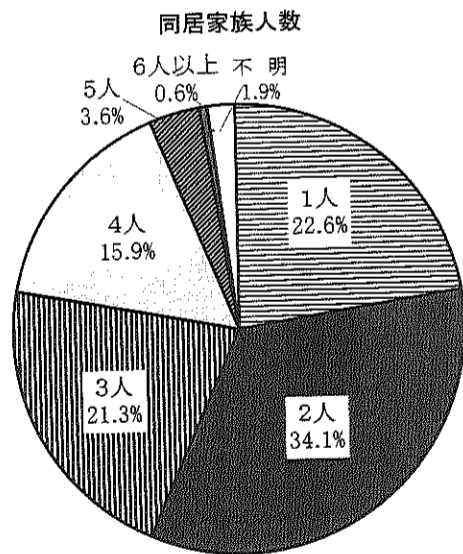
成人おめでとう!

1月15日、成人式を迎えられた会員世帯の新成人のみなさんに、自治会からささやかなお祝いとメッセージをお届けしました。あらたな人生が爽り多いものであることを心から願います。おめでとう。

- 1号棟 坂井 裕美さん
2号棟 豊岡 泰徳さん
3号棟 松元 祐子さん
4号棟 堀合 和也さん
5号棟 勝又 雅美さん
6号棟 萩野 竜也さん

「公団住宅の廃止絶対反対。全ての会員・居住者のみなさん、全国の団地自治会・自治協ですすめてきた運動をさらに強め、私たちの住まいを守りましょう。自治会は2月7日、全国自治協の「団地自治会代表者緊急集会」に代表5名を送り運動を開始しました。(情勢を要約し運動の方向性を示した集会決議を折り込みでお届けします)

団地の生活と住まい アンケートリポート No2



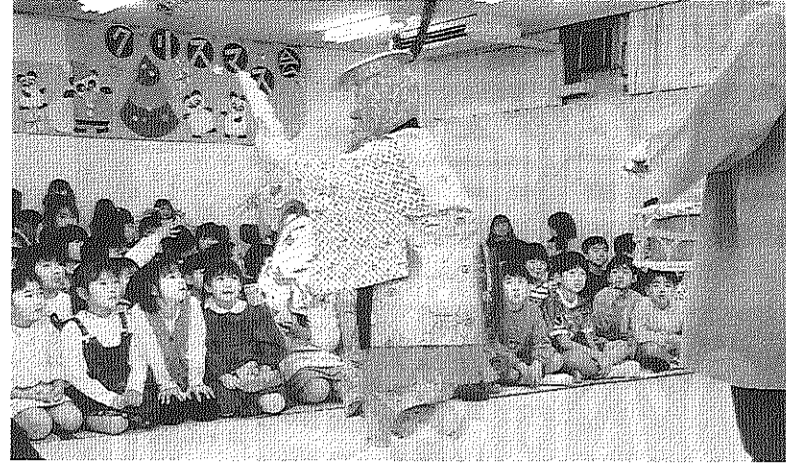
前回のアンケートの結果報告しました。同居家族の人数は、二人以下です。傾向を報告し、下の世帯は、前回調査(93年)より約10ポイント上がりました。56.7%となり、同居に関する問題意識などをまとめている家族の人数は、少な

自治会の動き

- 【11月】
- 17日 灯油チケット夜間販売
- 23日 96全国統一行動役員学習会
96全国統一行動宣伝活動
- 24日 フェスタ王五・中田町物産展
- 25~26日 保健衛生秋期宿泊研修会
- 26日 総合的団地環境整備懇談会
住宅環境部会
- 30日 桜田小展覧会
- 【12月】
- 3日 青少年王子地区推進委員会
- 4日 東十条東児童館まつり
96全国公団住宅居住者決起集会
- 6日 総合的団地環境整備懇談会
- 7日 桜田地区親子コーラスの集い
第6回運営委員会
- 9~10日 リサイクラー宿泊研修会
- 13日 住宅環境部会
- 14日 子どもクリスマス会
灯油チケット夜間販売
- 15日 灯油チケット夜間販売
- 18日 第3回地域懇談会 3
- 20日 町会(自治会)会長会議
- 21日 役員研修会
- 28~30日 歳末パトロール
- 【97年1月】
- 5日 高島平二丁目団地自治会新年会
- 6日 北区新年名刺交換会
- 10日 桜田小学校新年会
- 11日 第7回運営委員会
灯油チケット夜間販売
- 12日 96年自治会新年会
高島平三丁目自治会新年会
- 12日~ 新成人へのお祝いお届け
- 16日 王子地区防災会議
- 17日 青少年王子地区新年懇親会
- 18日 北区4団地自治会新年交流会
青少年王子地区委員会風づくり
- 20日 「住都公団の民営化問題を考える」シンポジウム
王子消防関係団体賀詞交歓会
- 23日 王子出張所管内連合町会新年懇親会
- 25日 第10回役員会
- 26日 希望ヶ丘団地自治会新年会
- 27日 王子管内防災視察
- 30日 青少年王子地区推進委員会
- 31日 王子防火婦人会新年会
- 【2月】
- 2日 東京23区自治協同棋将棋大会
青少年王子地区風上げ大会

自治会 冬の行事 ハイライト

子どもクリスマス会



楽市楽座のパフォーマンスも—12月14日(写真上)
中田町物産展—11月24日(写真中)
来賓のみなさんとともに—1月12日(写真下)

12月14日の土曜の夜、恒例の子どもクリスマス会が開かれました。小劇団「楽市楽座」の出しものに目を輝かせる子どもたち、役員扮するサンタクロースからのプレゼントをワイワイガヤガヤのなか

フェスタ王五



11月24日(日)、自治会主催の「フェスタ王五」が開催され、多くの居住者のみなさんでにぎわいました。



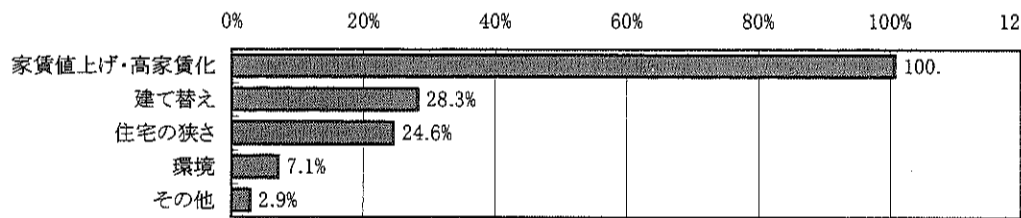
今回の目玉は「へじ引き」でした。総選挙と重なり中止された。余興へと続きました。

自治会新年会

自治会主催の新年会は1月12日(日)団地集会所で行われ、来賓のみなさんの楽しい話や、カラオケなどで予定時間もあっという間に過ぎ、宮井副会長の閉会のあいさつで午後5時15分散会しました。

となった運動会の代わりとして産展が開かれ、とりたて野菜や漬物、リンゴなどの特産品が人気をあつめていました。屋外では、宮城県中田町物産展が開かれ、とりたて野菜や漬物、リンゴなどの特産品が人気をあつめていました。

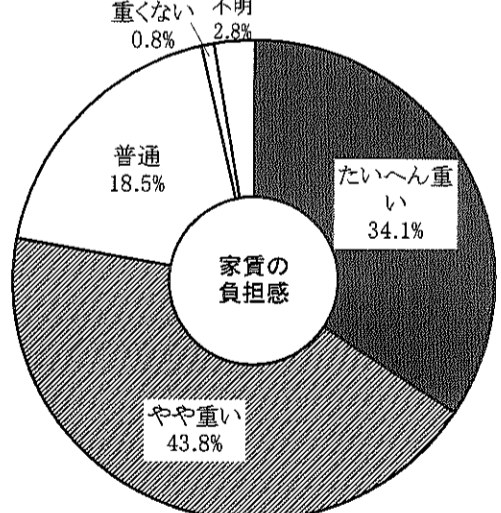
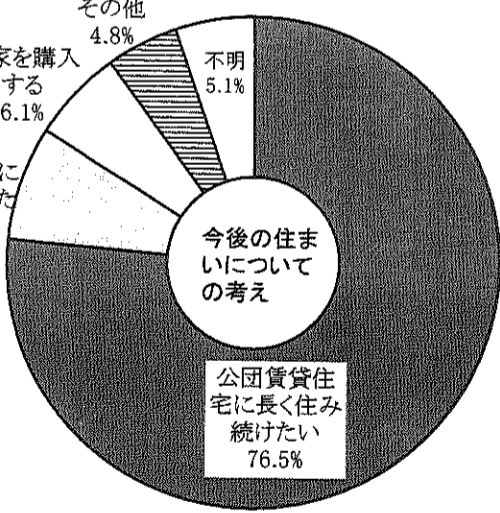
公団賃貸住宅に住み続ける上で何が心配か



一面からつく
今後の住まいについては、公団住宅に長く住み続けたいと思っている世帯が圧倒的に多く、76.5%(前回の調査では同じ質問事項がありませんでした)となっています。持ち家を購入するは6.1%

「公団住宅に住み続けたい」と思っている世帯は、7.5% (前回は11.3%) となりました。今私たちが大家である住都公団を廃止して民営化しようという動きが急を告げています。

長く住み続けたいと思っ
私たちが「住まいは人権」何心配か(複数回答)、「住まいは福祉」を言い言葉回答)、「家賃値上げ・高家賃化が100%と、住む上で家協議会に結集している全国の団地居住者と手をむすんで運動してききました。いよいよ「安心して住み続けられる住宅」を守るために力を出さなくてはなりません。



引越し
☎3994-6103
自治会連絡所
☎3913-6723

安心 / 満足
王子コミュニティーセンター指定業者
団地居住者、特別割引制度有り

関東運輸局許可
東京都トラック協会引越専門部会員

株式会社 教宣文化社
☎176 東京都練馬区豊玉北2-21-12

お電話ください。あなたと一緒に企画します。
自治会連絡所に。ただいてもかまいません。

王子五丁目団地

自治会会報

第157号・1997年4月6日
公団王子五丁目団地自治会
東京都北区王子5丁目2番
編集責任者・木元 章喜
発行責任者・濱沢 勝
自治会連絡所(集会所No.1)
(電話) 3913-6723
【開設時間】月～金 10時～16時

- 公団王子五丁目団地自治会
第21回定期代議員総会
日時 4月13日(日)午後1時～3時
場所 団地集会所2・3号室
議題
1、1996年度活動報告
2、民営化問題特別報告
3、1996年度決算報告
4、会計監査報告
5、1997年度活動方針の決定
6、1997年度予算の決定
7、役員選出についての選挙管理委員会報告
8、その他

今年もやはりがんばります

1997年度(第21期)に
自治会が取り組む課題(案)

行政改革の名の下にすすめられようとしている「公団住民民営化」に反対し、すべての居住者が安心して住み続けられる団地にするために、積極的な取り組みをすすめて、災害対策・住環境向上・モラル問題などについてこれまでの経験をいかして、入居20年を経て新たな視点からの検討を加えて居住者のみなさんごもががんばります。

公団住民民営化に反対し
住まいを守るために

- 1、住都公団廃止、公団住民民営化に反対し、国民の期待にこたえるよう公共住宅政策の拡充を求めます。
2、公団家賃の3年毎のくり返し値上げに反対し、高齢者世帯、母子世帯などへの家賃補助・減額制度などいっそうの福祉的施策を導入した定住できる公団家賃制度の確立を求めます。

安全で住みやすい
団地づくりのために

- 1、災害に対する取り組みを進めます。
①阪神大震災を教訓にして、王子五丁目団地の安全総点検をすみやかに実施するよう公団に求めます。

- ②災害時の広域避難場所の指定団地としての認識を新たに、関係機関との連携を強めていきます。
③自治会の自主的な防災組織のいっそうの充実をはかり、日常的な防災意識の啓蒙などをすすめます。
2、居住環境の悪化を防ぎ、向上させるために公団に働きかけます。
①「総合的団地環境整備」事業が団地の住環境向上につながるよう求めます。
②団地内での交通体系(特に車輛通行)の改善、不法駐車や、不当な車両進入を防ぐための対策をすすめます。また、団地内の騒音対策を公団などの関係機関に引き続き働きかけます。

地域社会の確立と
ゆたかな
団地づくりのために

- 1、青少年問題をはじめ各世代を視野にいたれた活動をすすめます。
①19期から開催している「青少年問題を考える地域懇談会」を引き続き開催します。
②団地に居住するあらゆる世代の人を対象にした新たな取り組みを企画し開催します。
2、リサイクル活動を定着・発展させます。
①排出ゴミの減量運動を進めます。
②「空きカン・ビン」のリサイクル体制を維持・発展させるべく、故紙、紙バック、不要放置自転車などの資源有効活用をすすめます。そのための団地内リサイクルシステムの確立を推進していきます。
③リサイクル活動に必要な環境・条件整備を公団や北區に働きかけます。

- 3、修繕問題に意欲的に取り組みます。
①公団の負担による修繕枠の拡大を引き続き求めます。
②共用部分の修繕の確実な実施と、共益費の適切な運用を求めます。
4、団地生活のモラル向上とルール確立の活動をすすめます。
①団地内の共用部分を大切にしよう呼びかけていきます。
②団地内や地下鉄駅前の放置自転車対策をすすめます。
③ゴミ置き場や、ダストシュートの適切な使用と粗大ゴミ出しのルールを守るよう働きかけます。
④生活騒音への配慮や、水漏れ事故防止を呼びかけるとともに、ペット問題を含む集合住宅の基本的なマナー確立を働きかけていきます。
⑤夜間のバイク騒音、駐輪場での自転車・バイクへのいたずらや、放火などの対策をすすめます。
⑥団地内における交通事故や犯罪防止を、警察・公団などと協力してすすめます。

- 3、生活にうるおいを与える各種行事
や取り組みをおこないます。
①第21回団地まつりを今年の夏も2日間開催します。さらにファミリー運動会、フェスタ王五、新年会などの行事をおこないます。また、このほり上げ、こどもクリスマス会などの季節の取り組みをいっそうすすめて、北區青少年王子地区委員会の各種行事にも構成団体として積極的に参加します。
参加者が少なくなっている行事は、内容等を検討し改善します。また、新たな行事の企画・立案をすすめて、多様な要求に応えるものにしていきます。
②自治会共済制度の維持、小学校新入学児童・新成人へのお祝い、桜美会(団地内の高齢者クラブ)活動に協力するべく、敬老会をおこないます。さらに団地内での高齢者の社会参加などについての活動をすすめます。
③灯油の共同購入、協定業者と提携しての引越しあつせんなど利便供与の取り組みを引き続きおこないます。

- 6、渉外活動、関係団体との連携・協力をすすめます。
①住都・都市整備公団、日本総合住宅生活(J.S.)、北區などと系統的に話し合いをおこないます。
②全国公団住宅自治会協議会、東京23区公団住宅自治会協議会、王子出張所管内連合町会、王子および北區自治会連合会、王子防火協会、王子赤羽清掃協力会、北區社会福祉協議会、北區赤十字奉仕団王子分団などの連携や活動を継続発展させます。
③他の公団団地自治会、近隣自治会・町会、北區青少年王子地区委員会、王子五丁目団地商店会、団地内のスポーツ・趣味のサークル、小・中学校とPTA、児童館、幼稚園、保育園、学童クラブ、近隣の病院や、公共的組織などとの連携・協力活動をすすめます。
④赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、献血など日赤奉仕活動に必要な協力をします。
⑤自治会推薦の「北區明るい選挙推進委員」、王子保健衛生委員」を先頭に、明るい選挙推進活動、保健衛生活動に協力します。

自治会活動の
充実と発展のために

- 1、全ての居住者参加の自治会づくりをめざします。
①全居住者に対して入会の働きかけを引き続きおこなっていきます。
②団地内の全ての店舗に「賛助会員」参加の働きかけを引き続きおこなっていきます。
2、会員の期待と信頼にこたえる自治会活動をさらにすすめます。
①役員会、運営委員会、各専門部、各常任・特別委員会、事務局の運営の強化をはかり、発展させます。
②会報の発行やポスターの掲出など広報活動をよりわかりやすく充実させます。
③自治会外団体として設立し、運営している「王子コミュニティセンター」のよりいっそうの活用を研究・検討し事業をすすめます。

- 4、北區立郷土資料館閉館後の利用
計画について取り組みます。
現在建設中の郷土博物館の開設により、移転・閉館される郷土資料館の跡地計画について、北區・北區教育委員会と話し合い、団地エリアの一部にあわしい計画と利用を要望していきます。
5、北區などの行政・公的機関の委託